

学校法人貞静学園

第V期（2026～2030年度）

中期計画



< 目次 >

I 章 第Ⅴ期中期計画の策定にあたり 1

II 章 第Ⅴ期(2026-2030年) 貞静学園 経営戦略目標 1

III 章 各設置校・法人の中期計画

1 法人事務局 3

2 貞静学園短期大学 7

3 貞静学園中学校・高等学校 9

4 貞静幼稚園 13

I 章 第V期中期計画の策定にあたり

学校法人貞静学園は、1930年の学園創設以来、『至誠・和敬・慈愛』の建学の精神のもと、女子教育・幼児教育を学園ブランドとして人間教育の実施、また多くの社会に役立つ人材を輩出してきた。しかし、昭和から平成に時代が変遷する中で、男女共同参画時代の背景から設置校の共学化を図り、更に令和の時代になり、幼児教育・保育分野の志望者激減という時代の流れにより、学園創設時の原点である貞静学園短期大学の募集停止という、本学園の根幹を揺るがす状況となっている。

この先、教育業界に多大な影響を伴う少子化時代を乗り越えていくために、本学園は高等学校を中心とした学校経営に切り替え、「教育環境の向上」、「人的資源の管理」、「財政基盤の確立」、「学園ブランドの形成」を推進すべく、以下の中期目標を掲げる。

2026～2030年度 中期目標

学園の永続的な経営基盤の確立

この中期目標をもとに、ICT・AI・サステナビリティなど、技術革新や社会環境の変化が目まぐるしい時代の中、全教職員が一体となって、学生・生徒・園児に対して、高度化・複雑化する課題に対応できる人材を育成していくため、次章に挙げる4つの視点から経営戦略目標を設定し、2026年度～2030年度の第V期学校法人貞静学園中期計画を策定する。

II 章 第V期(2026-2030年) 貞静学園 経営戦略目標

2026～2030年度の中期目標をもとに、当学園の中期計画において重要な要素となる「①財務」「②人材・組織・情報」「③ステークホルダー」「④教育内容／生徒・園児募集」の4つの視点から経営戦略目標を立案した。

経営戦略上で特に重要視すべきものとして、「①財務」の視点においては、短期大学閉学後の土地・校舎の資産活用が、経営基盤の確立に多大な影響をもたらすため、収益性の高い資産活用の達成を踏まえて重要目標としている他、全5項目を設定している。

「②人材・組織・情報」の視点においては、学園ビジョンの達成に向けた組織体制の再構築や学園存続のための教職員のモチベーション向上を図るための評価制度導入をはじめとした全5項目を設定している。

「③ステークホルダー」の視点においては、教育内容・質の向上を図るための産官学連携の推進や卒業生・地域連携による学園発展のための支援を目的とした項目をはじめとした全5項目を設定し、「④教育内容／生徒・園児募集」の視点においては、これからの多様化・複雑化する社会環境の変化及び技術革新に適応する人材育成をするための教育ビジョンの再構築と明確化、更にそのビジョンに沿った教育内容・質の向上を重要目標とする他、全7項目の戦略目標を設定している。

【① 財務視点からの経営戦略目標】	
①-1	資産の有効活用・収益化
①-2	収入源の多様化・安定化
①-3	コスト構造改革・効率化
①-4	財務健全性の確保
①-5	中長期的な経営体制・投資戦略

【② 人材・組織・情報の視点からの経営戦略目標】	
②-1	ガバナンス・組織体制の強化
②-2	人材育成・評価制度の整備
②-3	情報共有・ナレッジマネジメント
②-4	ICT・DX 推進と情報管理
②-5	マネジメント能力・組織文化の醸成

【③ ステークホルダー視点からの経営戦略目標】	
③-1	他大学・教育機関との連携
③-2	産学連携・企業との協働
③-3	卒業生・同窓会との連携強化
③-4	地域との関係強化・信頼構築
③-5	生徒・保護者への教育価値提供

【④ 教育内容／生徒・園児募集の視点からの経営戦略目標】	
④-1	ビジョン・教育理念の明確化
④-2	ブランド戦略・差別化
④-3	時代に適応した生徒・園児募集活動の推進
④-4	教育内容・質の向上
④-5	進路・出口戦略
④-6	生徒・保護者満足度向上
④-7	マネジメント・評価体制

Ⅲ章 各設置校・法人の中期計画

1. 法人事務局

【① 財務における中期計画】	
戦略目標①-1：資産の有効活用・収益化	
(1) 施設（短期大学校舎他）活用の検討、決定（2026）及び収益事業化（2027～）	
ア) 短期大学校舎の賃貸に向けて、専門家からの情報収集・分析を行い、理事会決議を経て、不動産賃貸業として所轄庁に収益事業認可申請を行う【年間収益目標 8,000 万円】	
イ) 既存運動施設の方向性の検討（小日向テニスコート、取手グラウンド）	
(2) 特定資産の有価証券化（国債等・2026～）	
ア) 減価償却及び施設設備維持引当特定資産の有効的な運用に向けた情報収集と運用方針を決定	
戦略目標①-2：収入源の多様化・安定化	
(1) 寄附金制度の構築（2026～）	
ア) 寄附金に関わる規程の整備及び目的、対象事業の整理	
(2) 新規収益事業の検討（2026～）	
ア) 主に付随事業を中心に検討を行う	
(3) インカムゲイン増収を目指す（2026～）	
ア) 資産運用規程の見直し、専門家からの情報収集	
戦略目標①-3：コスト構造の改革・効率化	
(1) 人件費見直し方針策定（2026）	
ア) 業務見直し（時間外業務、業務プロセス）、教職員のモチベーション向上を目的とした施策	
(2) 事務業務の一元化検討（2026）、業務効率化施策の実施（2027）	
ア) DX 化、ペーパーレス化の推進	
イ) 事務局・事務部の業務最適化、統合	
(3) 人件比率の最適化を目指した規程の整備（2026～）	
ア) 職務給・役割給への転換による給与表改定の実現を目指す	
戦略目標①-4：財務健全性の確保	
(1) 経常収支差額及び事業活動収支差額の黒字化（2030）	
ア) 予算策定、予算執行の適正な管理を継続的に実行	
(2) 2029 年度、資金ショート予測からの回避対策（2026～2028）	
ア) 総資産利益率の改善のため、中期計画の PDCA サイクルを徹底	
戦略目標①-5：中長期的な経営体制・投資戦略	
(1) 運動施設の情報収集、資金計画策定（2026）	
ア) 体育・運動教育の充実化に向けて、2027 年度以降に運動場導入の実現を目指す	
(2) 施設設備維持引当特定資産の積立【年額目標：中高 5,000 万円、幼稚園 1,000 万円】（2029～）	
ア) 財務的負荷のない財源確保及び大規模修繕の資金投入における適切な判断	

【② 人材・組織・情報における中期計画】

戦略目標②-1：ガバナンス・組織体制の強化

- (1) 経営推進委員会の活性化（2026～）
ア) 学園経営の方向性を検討する重要機関として位置付け、委員・審議内容の拡充を図る
- (2) ガバナンス強化に向けた規程見直し、法令遵守の取組実施（2026～）
ア) 教職員対象説明会の実施
イ) 定期的な学園報（社内報）の発行
- (3) 学園本部機能の強化（2026～）、事務職員の適切な人材配置（2027～）
ア) 学園本部人員配置の検討
イ) 人事課権限の明確化、強化及び経営企画部署強化
ウ) タレントマネジメント、事務職員関連部署の最適化

戦略目標②-2：人材育成・評価制度の整備

- (1) 人事評価制度の検討、構築（2026～）
ア) 事務職員の評価制度導入（目標：2027年）、教員の評価制度導入（目標：2028年）
イ) 導入前の教職員サーベイ実施、評価指標の整備（2026年）
- (2) キャリアパスの検討（2026～）
ア) 役職・職務に就くためのルート提示
イ) 役職者の職務・待遇の再検討・改善
- (3) 若手～中堅層の育成体系整備（2026～）
ア) 研修プログラム整備（教員指導力向上等）
- (4) 健康経営の推進（2026～）
ア) 勤務実態把握・分析から働き方見直しの施策を実施し、WLBの改善を図る

戦略目標②-3：情報共有・ナレッジマネジメント

- (1) 全教職員の学園情報の共有（2026～）
ア) 全教職員対象とした報告会実施または学園報による報告書の発行
- (2) 現場教職員の意見を学園経営に反映する体制の検討・整備（2026～）
ア) 教職員アンケートの定期的な実施、結果報告の共有
- (3) 法人事務局・幼稚園・中学校高等学校教職員の交流推進
ア) 各校種間の教育内容の見学・把握・意見交換を目的とした人事交流の実施

戦略目標②-4：ICT・DX推進と情報管理

- (1) DX化による業務改革（2026～）
ア) 勤怠管理のDX化実施、理事会のDX化検討
- (2) 情報管理の徹底（2026～）
ア) 情報管理専門部署の2027年度設立及び情報セキュリティ対策基準の策定

戦略目標②-5：マネジメント能力・組織文化の醸成

- (1) 管理職者の能力向上（2026～）
 - ア) 管理職マネジメント研修の導入
 - イ) 管理職者評価アンケートの実施
- (2) 教職員のモチベーション向上の施策検討及び実現（2026～）
 - ア) 人事評価制度導入前に事務職員のキャリアパスを提示
 - イ) 学内表彰制度の再構築

【③ ステークホルダー視点における中期計画】**戦略目標③-1：他大学・教育機関との連携**

- (1) 大学、専門学校との教育連携先を 2030 年までに 20 校を目標(2026～2030)
 - ア) 取引先を通じた連携先の開拓
 - イ) 多分野の領域による大学、専門学校との提携を目指す

戦略目標③-2：産学連携・企業との協働

- (1) 産学連携先を 2030 年までに 5 社を目標(2026～2030)
 - ア) 自治体、取引先を通じた連携先の開拓

戦略目標③-3：卒業生・同窓会との連携強化

- (1) 創立 100 周年事業プロジェクトチームの設立（2026）
 - ア) 周年事業の検討及び周年事業実施における寄附金制度
- (2) 短期大学卒業生の証明書発行及び就職支援窓口設置の検討・運用（2026～）
 - ア) 法人事務局内の部署として設置、永続的な支援体制の構築、運用

戦略目標③-4：地域との関係強化・信頼構築

- (1) 経営報告の可視化による信頼性向上（2026～）
 - ア) 法人サイトの充実化と継続的な情報発信を行う
- (2) 地域貢献・交流機会の増加（2026～）
 - ア) 学園施設を活用した地域貢献活動を検討

【④ 教育内容／生徒・園児募集における中期計画】

戦略目標④-1：ビジョン・教育理念の明確化

- (1) 教育ビジョンの明確化に向けたサポート、各校提案
 - ア) 市場動向を分析し、現代のニーズを見極めた教育ビジョンの検証を行う

戦略目標④-2：ブランド戦略・差別化

- (1) 他校との明確な差別化による学園ブランドの構築（2026）
 - ア) 未来社会ニーズを捉えた教育の実現
 - イ) 学園としての人的・物的資源の独自性を強化
- (2) 広報媒体の一元化、学園カラーの統一（2027～）
 - ア) 各校との調整、広報媒体制作業者との折衝を実施

戦略目標④-7：マネジメント・評価体制

- (1) PDCA サイクルの可視化と公表（2027～）
 - ア) 年間事業報告書における様式整理（学園全体）
 - イ) 自己評価に対する学校関係者評価の体制構築

2. 貞静学園短期大学

【① 財務における中期計画】	
戦略目標①-2：収入源の多様化・安定化	
(1) 体育館貸出事業の拡大による当該事業の収益2倍を確保（2026）	
ア) 既提携業者の貸出回数を増加	
イ) 新規提携業者の開拓	
ウ) 地域スポーツクラブへの貸出検討	
(2) 新規貸出事業の推進（2026）	
ア) ロケ現場や撮影現場としての貸出、ポップアップストア等として貸出を推進	
戦略目標①-3：コスト構造の改革・効率化	
(1) 2026年度予算の支出削減（2026）	
ア) 非常勤講師の人員削減	
イ) 既存備品の整理	
(2) 短期大学としての信頼維持（2026）	
ア) ステークホルダーへの丁寧な対応の継続	

【② 人材・組織・情報における中期計画】	
戦略目標②-3：情報共有・ナレッジマネジメント	
(1) 長年培ってきた知的資産の共有（2026）	
ア) 中学校・高等学校、幼稚園を含めた学園全体に共有	
戦略目標②-4：ICT・DX推進と情報管理	
(1) サイバー攻撃の対策強化（2026）	
ア) 対策費の予算計上、具体的な対策の実行	
(2) 卒業生等の情報管理体制の構築（2026）	
ア) 個人データ持ち出し禁止ルール of 徹底	
イ) 現存する資料や情報の整理及び保管体制の構築	
戦略目標②-5：マネジメント能力・組織文化の醸成	
(1) 研修会等への参加強化（2026）	
ア) 学外教職員との交流を積極的に持つ	
イ) 学び得てきた内容を学内にて共有する場の設定	
ウ) 幼稚園・中学校高等学校教員との交流	

【③ ステークホルダー視点における中期計画】

戦略目標③-4：地域との関係強化・信頼構築

- (1) 地域活動への積極的な取り組み（2026）
 - ア) 一中祭、ハロウィン等の地域イベントへのボランティア参加
 - イ) 無料休憩所、子育て支援カフェとしての施設開放
 - ウ) 地域活動の継続のために中学校・高等学校へ移管

戦略目標③-5：生徒・保護者への教育価値の提供

- (1) 一人ひとりに応じた指導の強化（2026）
 - ア) 面談回数を増やし、個別指導強化
 - イ) 卒業に向けて、個別補講の実施
 - ウ) 実習における成績不良学生への個別対応強化
 - エ) 就職相談の強化
- (2) 保護者への情報発信（2026）
 - ア) ホームページ記事の定期的な追加更新
 - イ) 後援会との連携強化
 - ウ) 学生の出席状況等個別の報告

【④ 教育内容／生徒・園児募集における中期計画】

戦略目標④-1：ビジョン・教育理念の明確化

- (1) 社会に役立つ人材（保育者）を輩出する理念の徹底（2026）
 - ア) 学生全員が最後に卒業するまで徹底した指導とサポート
 - イ) グローバルな保育人材の育成

戦略目標④-2：ブランド戦略・差別化

- (1) 少人数だからこそ出来る教育活動の展開（2026）
 - ア) 災害時を想定した模擬避難活動の実施
 - イ) 引率を伴った校外研修の実施
- (2) 短期大学としての信頼維持（2026）
 - ア) ステークホルダーへの丁寧な対応の継続

3. 貞静学園中学校・高等学校

【① 財務における中期計画】	
戦略目標①-2：収入源の多様化・安定化	
(1) 入学生徒数の安定確保（2026～2030）	
ア）（中学校）入学者目標数：25名、在籍生徒目標数：75名、退学者10名以内	
イ）（高等学校）入学者目標数：180名、在籍生徒目標数：540名、退学者10名以内	
(2) 後援会による寄付金制度の導入（2027）	
ア）後援会に学校の教育環境整備事業を共有	
(3) 施設貸し出し事業の積極的な拡大、推進(2026～2030)	
ア）各種検定、模擬試験運営業者への貸出増加	
戦略目標①-3：コスト構造の改革・効率化	
(1) 人件費の削減(2026～2027)	
ア）校務分掌の見直しによる組織体制の簡略化（2026）	
イ）選択授業の精選による開設授業の見直し（2027）	
(2) 当初予算編成時の精査(2026～2030)	
ア）予算執行状況と厳しい効果測定のもとに反映	
(3) 効率的な学級編成体制(2026)	
ア）高等学校6クラス編成を基本	
(4) 教員派遣会社活用0を目指す教員体制の確保、コスト削減(2027～2030)	
ア）年度当初からの人事管理の徹底、年度当初からの次年度に向けての人事計画立案	
戦略目標①-5：中長期的な経営体制・投資戦略	
(1) 中学校・高等学校の生徒数安定確保、生徒数増(2026～2030)	
ア）外部相談会の回数増 中学入試対策塾主催の保護者向け講演会の実施	

【② 人材・組織・情報における中期計画】

戦略目標②-1：ガバナンス・組織体制の強化

(1) 校内組織体制の構築(2026～2030)

- ア) 中期計画の実現に向けて組織力が最大限に発揮できる校内人事の構築

戦略目標②-4：ICT・DX 推進と情報管理

(1) Web 活用による生徒増に繋がる広報活動の強化・充実(2026～2030)

- ア) ホームページの一層の充実
- イ) SNS を活用した学校生活の実際の発信 生徒による広報媒体の作成発信

(2) 生徒に向き合う指導時間の確保 (2026～2030)

- ア) DX の推進による業務効率化を実現し、目標を達成させる
- イ) 生徒個別情報管理、成績処理管理、採点業務等のシステム導入、見直し

(3) ICT 化推進のための授業内容の充実化(2026～2030)

- ア) 「情報」教科の改善、内容の充実
- イ) ICT を活用した魅力のある授業、わかりやすい授業の研究
- ウ) ICT ドリル教材と授業との連携研究

戦略目標②-5：マネジメント能力・組織文化の醸成

(1) 教員の職務に対するモチベーションの向上(2026～2030)

- ア) 教員の業務に対する意識・現状把握のためのサーベイ実施
- イ) 自己申告制度（目標申告、配置面接、業績評価）を活用した人事管理の推進

(2) 各部の経営参画の推進(2026～2030)

- ア) 教育課程の創造、入試制度の改善、ビジョンの実現

【③ ステークホルダー視点における中期計画】

戦略目標③-1：他大学・教育機関との連携

- (1) 高大連携校の拡充〈連携先の大学増、連携内容の充実〉(2026～2028)
 - ア) (想定連携大学)：東京工科大学、跡見学園女子大学、中央大学

戦略目標③-2：産学連携・企業との協働

- (1) 産学連携の推進(2026～2030)
 - ア) アルバルク東京との協定に基づく、バスケットボール交流活動の一層の充実
 - イ) 進学塾、新聞社との連携による進路指導の充実
 - ウ) 金融機関による金融教育の充実

戦略目標③-3：卒業生・同窓会との連携強化

- (1) 進路指導の充実(2026～2030)
 - ア) 大学入試、大学生活に係る体験、受験への心構え等の卒業生講演の実施
- (2) 学校支援体制の構築(2026～2028)
 - ア) 同窓会組織と後援会の一体化した展開

戦略目標③-4：地域との関係強化・信頼構築

- (1) 地域貢献活動の充実と拡充(2026～2030)
 - ア) 文京区小学生を対象とした味噌づくり体験
 - イ) カヌー体験へのボランティア
 - ウ) 併設の貞静幼稚園でのボランティア
 - エ) 東京都内幼稚園への保育ボランティア
 - オ) 地域に貢献できるボランティア活動の構築

戦略目標③-5：生徒・保護者への教育価値の提供

- (1) きめ細かな指導体制の確立(2026～2030)
 - ア) 「なりたい自分にふさわしい進路」「いける進路先ではなく行きたい進路先へ」を実現するきめ細かな進路指導、キャリア教育の実施
- (2) 特色ある教育活動の充実(2026～2030)
 - ア) グローバル人材の育成に向けた校外学習、海外語学研修、留学、学校行事等の構築

【 ④ 教育内容／生徒・園児募集における中期計画】

戦略目標④-1：ビジョン・教育理念の明確化

- (1) 長期ビジョン「グローバル人材の育成」を目指した教育課程の編成(2026)と実践(2027～2029)
 - ア) グローバル人材の育成を目指した総合的な探究の時間の単元開発とカリキュラム化

戦略目標④-2：ブランド戦略・差別化

- (1) 「きめ細かな個別指導『面倒見のよい学校』」の具現化を図るための進路指導体制の体系化(2026～2027)
 - ア) 進路指導体制の体系化、放課後補習教室実施の可否についての検討

戦略目標④-3：時代に適応した生徒・園児募集活動の推進

- (1) 生徒募集活動の充実(2026～2030)
 - ア) 説明会、相談会において、生徒育成ビジョン「グローバル人材の育成」を明確に示す
 - イ) ICTの一層の活用(SNS、口コミサイト、GoogleMap等)

戦略目標④-4：教育内容・質の再構築と向上

- (1) 学び直しをはじめとする丁寧な授業の実施
 - ア) きめ細かなミニテストによる学力保証
- (2) 幼児教育に関わる教育内容についての一層の連携強化(2026～2030)
 - ア) 高大連携による幼児教育の専門的領域の体験学習、幼稚園との連携による幼児教育についての学習及び実習の充実

戦略目標④-5：進路・出口戦略

- (1) 大学進学率 80% 進路決定率 90%以上 G・MARCH 相当大学合格 10 名目指す(2026～2030)
 - ア) 高大連携による進学実績の向上
- (2) 外部との連携による進路指導の充実(2026～)
 - ア) 学習塾、予備校による受験対策の講演会実施

戦略目標④-6：生徒・保護者満足度向上

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を実現する施設・設備の整備(2026～2030)
 - ア) マルチメディア室の整備とそれを活用した学習、探究活動の充実
- (2) 学園生活を充実させる取組・活動の推進(2026～2030)
 - ア) 各行事の充実に向けての生徒の自主・自律精神を伸ばさせる指導の充実
 - イ) 運動施設の拡充の可能性(借用等)に向けた検討・取組
 - ウ) 部活動の充実
 - エ) ボランティア活動の充実

戦略目標④-7：マネジメント・評価体制

- (1) 学校関係者評価システムの構築(2027～2030)
 - ア) 教育内容実施経過を学校評価として実施

4. 貞静幼稚園

【① 財務における中期計画】	
戦略目標①-2：収入源の多様化・安定化	
(1) 在籍園児数の安定的確保	ア) 入園者目標数：年少 35 名、在籍園児目標数 4 月 105 名、3 月 120 名（2026～2030）
(2) 入園児の安定的確保	ア) 年少入園辞退率 7%以内（合格発表から 3 月末日までの間）
戦略目標①-3：コスト構造の改革・効率化	
(1) 共通事務の一元化による効率化(2026～2027)	ア) ホームページ一元化（法人、中高、幼稚園、短大、中高同窓会、短大同窓会） イ) PC のログイン、ログアウトを用いた勤怠管理の導入（2026）
(2) 教育内容の最適化(2026～2030)	ア) 行事中心ではなく通常保育を第一とする年間計画の作成と実践
戦略目標①-5：中長期的な経営体制・投資戦略	
(1) 少子化に対応した経営体制の維持	ア) 募集定員 35 名、入園定員 40 名の堅持(2026～2030)
(2) 教育環境の発展的整備(2026～2030)	ア) 建築後 60 年以上経過している園舎建替え、あるいは短大校舎を改築して幼稚園舎とすることの検討、資金計画立案

【② 人材・組織・情報における中期計画】

戦略目標②-1：ガバナンス・組織体制の強化

- (1) ガバナンスのさらなる強化(2026～2030)
 - ア) 規程、規則の遵守を目指す研修会の実施（年間1回、中高幼短大合同）
- (2) 組織横断の連携強化(2026～2030)
 - ア) 中学・高校・短大と幼稚園が実施するボランティア活動について、推進委員会を立ち上げ、各校・園が年間指導計画に明記し実施する

戦略目標②-2：人材育成・評価制度の整備

- (1) 人事評価制度の構築(2026～2030)
 - ア) 人事評価制度と同時に人材育成計画を策定
- (2) 若手～中堅層の育成体系整備(2026～2030)
 - ア) 園内研修、園外研修を実施する体制の構築として、研修主任を配置し、計画的な研修が行えるようにする
- (3) 次代を担う若手教職員の採用・育成(2026～2030)
 - ア) 教育実習生の積極的な受け入れ
 - イ) 都私幼連主催研修会への積極的な参加（年間1人1回以上）
- (4) 健康経営の推進(2026～2030)
 - ア) メンタルヘルスを踏まえたストレスチェックに基づく個人面談の実施

戦略目標②-4：ICT・DX推進と情報管理

- (1) ICT活用による業務効率化と情報共有(2026～2030)
 - ア) 現在導入している園務支援ソフトをアップデートさせながら業務効率化を図る
- (2) Webサイト等の外部情報発信強化(2026～2030)
 - ア) ホームページの更新回数（＝通常保育の日数）、インスタグラムの更新回数（週1回）

戦略目標②-5：マネジメント能力・組織文化の醸成

- (1) 管理職者のマネジメント能力の向上(2027～2030)
 - ア) 園長がリーダーシップを発揮し、教職員と信頼関係を築いているかどうかのチェックを行う（年1回、教職員へのアンケート調査の実施など）
 - イ) 教職員の考えが園運営に反映される仕組みの構築

【③ ステークホルダー視点における中期計画】

戦略目標③-1：他大学・教育機関との連携

- (1) 幼小中高大専の教育連携の強化(2026～2030)
 - ア) お茶の水女子大学附属幼稚園との共同研究、地元小中学校との連携、職場体験の受け入れ、教育実習の受け入れ、調査依頼への協力

戦略目標③-2：産学連携・企業との協働

- (1) 地域を巻き込んだ産学連携活動の推進(2026～2030)
 - ア) アルバルク東京と連携して行うバスケットボール教室、チアダンス教室の実施

戦略目標③-3：卒業生・同窓会との連携強化

- (1) イベントやセミナーを通じた卒業生との関係構築(2026～2030)
 - ア) 幼稚園で行う課外活動に卒園生も参加可能とする
 - イ) 創立100周年に向けてホームカミングデーを実施

戦略目標③-4：地域との関係強化・信頼構築

- (1) 地域活動への積極的参加(2026～2030)
 - ア) 大塚町町会と共催で行うもちつき大会の実施
 - イ) 大塚町町会のもちつき大会へ教員がボランティアとして参加する
 - ウ) 大塚町町会もちつき大会ポスターに「貞静幼稚園」と記載してもらう
- (2) 地域での園児作品展示、演奏披露(2026～2030)
 - ア) 老人ホームや店舗との連携に向けた情報収集、検討、実施
- (3) 地域への情報発信
 - ア) 幼稚園前に掲示板を設置し、情報発信

戦略目標③-5：生徒・保護者への教育価値の提供

- (1) 成功体験が積める生徒・園児活動の推進(2026～2030)
 - ア) 行事ごとの振り返りを可視化する
- (2) 園児・生徒の学力向上施策の検討(2026～2030)
 - ア) 子どもにつけたい力を可視化し、達成度がわかるカードを作成し、保護者に示す
- (3) 保護者との信頼関係強化(2026～2030)
 - ア) 保護者が参加した行事ごとに事後アンケートを取り、保護者の意見を把握する
 - イ) 園全体に対する保護者アンケートを実施し、結果の公表及び改善策を示す

【④ 教育内容／生徒・園児募集における中期計画】

戦略目標④-1：ビジョン・教育理念の明確化

- (1) ビジョンの明確化
 - ア) 『地域に選ばれる園』をビジョンとし、保育・教育を行う
- (2) 育成する人物像・教育理念の明確化
 - ア) 「活動に主体的に取り組める子ども」、「一斉保育の中で主体的に活動に取り組める子ども」を育てる

戦略目標④-2：ブランド戦略・差別化

- (1) 幼稚園の特色・ブランドの再構築（2026～2027）
 - ア) アルバルク東京との連携の一層の強化
- (2) 他園との差別化を明確化（2026～2027）
 - ア) ICT を保育に取り入れ活動を充実させる
 - イ) 質の高い保育を実現する
 - ウ) インクルーシブ教育の理念を取り入れた教育及び保育の実施
- (3) Web サイト等を活用した外部情報発信の強化（2026～2030）
 - ア) GoogleMap のクチコミ 1 件以上の増加（毎年）
 - イ) 「みんなの学校情報」クチコミ 1 件以上の増加（毎年）

戦略目標④-3：時代に適応した生徒・園児募集活動の推進

- (1) 認知度向上施策の実施(2026～2030)
 - ア) ホームページ、SNS 等を活用した募集活動
 - イ) 地域への園児募集ポスターの掲示
 - ウ) 見学に来たが、本園を選ばなかった保護者へのアンケートの実施

戦略目標④-4：教育内容・質の再構築と向上

- (1) 授業のサポート体制構築(2026～2030)
 - ア) 外部講師を招いた園内研修の実施（年 2 回）
- (2) 幼稚園の魅力拡充(2026～2030)
 - ア) 課外活動の充実
 - イ) 満 3 歳児保育の実施（検討）

戦略目標④-5：進路・出口戦略

- (1) 高大（幼少）連携の強化(2026～2030)
 - ア) 地域小学校の学校行事の見学及び授業見学の実施

戦略目標④-6：生徒・保護者満足度向上

- (1) 保護者との信頼関係強化（2026～2030）
 - ア) 保護者会（年度初め、年度末）の実施
 - イ) 保護者面談（年 2 回、2 回目は希望制）

戦略目標④-7：マネジメント・評価体制

- (1) PDCA サイクルの可視化と公表(2027～2030)
 - ア) 保護者アンケートの実施、公表、改善策の提示
 - イ) 学校関係者評価の実施